

制作者のお話



「耳だれ様」、「なまますの人助け」の制作にご協力いただいた、峯健二さんにお話を伺いました。



みねけんじ 峯健二さん
(吉川市美術協会所属)
文藝よしかわ第4号創作(なまますの)むかしばなし部門最優秀賞を受賞

Q 創作むかしばなしとして作られた「なまますの人助け」ですが、制作のきっかけは何ですか？

A 生涯学習課より私の所属する吉川市美術協会に、絵本吉川むかしばなし制作の協力依頼があったのが最初でした。美術協会で受け持つお話の下絵を描いているうちに、私にもなまますのむかしばなしで何か作れないかと考え、文藝よしかわ第4号の「創作(なまますの)むかしばなし部門」に応募しました。

Q 絵本を描く中で、印象に残っていることはありますか？

A 絵本では、状況や場面を表す絵がとても重要なので、話の中のどの部分を絵にするか、インパクトを与えるにはどうしたらいいか悩み、い

ろいろな絵本を見て研究しました。おとぎ話っぽくなるように動物を描き、吉川ならではの「なまます」も描きました。登場人物の服装などは、当時こんなカラフルではないと思いますが、絵本として楽しめるように色を付けています。また、文字が多いと見づらいので、文を書き過ぎないようにも注意しました。

Q どんな人に読んでもらいたいですか？また、お話を通して伝えたいことはありますか？

A 私が小さい頃は、紙芝居に触れる機会が多くありました。紙芝居屋が来たり、学校でも見たりしていましたが、今の子どもたちにはほとんど馴染みがないと思います。ぜひこの絵本を読んで、子どもたちに絵を見ることや描くことの楽しさを知ってもらえたら良いなと思います。大人の方には、子どもの頃を思い出して懐かしんでもらいたいです。昔の文化を伝承することはとても大切だと思うので、

こうやって少しでも

触れる機会があると良いと思います。また不定期で制作したいですね。



「耳だれ様」作画前の下絵

頒布は3月19日(金)から



表紙の制作:ワークショップ 楽えん

掲載作品

中井沼のカッパ／石仏 大威徳明
王／耳だれ様／なまますの人助け
の全4話

頒布場所

● 生涯学習課
毎週(月)～(金) (祝・年末年始を除く)

午前8時30分～午後5時

● 中央公民館

毎週(月)～(日) (休館日を除く)

午前8時30分～午後5時

※新型コロナウイルスの感染状況によっては臨時休館となる場合があります。

合があります。

価格 500円(税込)

規格 A4判、48ページ、カラー

印刷

編集 吉川市教育委員会

発行 吉川市

原画展のご案内

吉川むかしばなし第2集に掲載されている全作品の原画をご覧ください。色彩あふれる繊細な絵やダイナミックな絵をお楽しみください。

日時 3月19日(金)～25日(日) (休館日を除く)

午前8時30分～午後5時

場所 市役所1階コミュニティルーム

※おあしす、中央公民館でも開催を予定しています。詳しくは広報4月号をご覧ください。

